

都市再生整備計画 事後評価シート
蓮田市閏戸貝塚周辺地区

平成31年3月

埼玉県蓮田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	蓮田市		地区名	蓮田市閨戸貝塚周辺地区			面積	233.9ha
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	2,600百万円	国費率	0.183		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	・道路(市道16号線・市道48号線・市道489号線) ・高次都市施設(地域交流センター(総合文化会館))							
			提案事業	地域創造支援事業(総合文化会館整備事業)							
	当初計画から削除した事業		基幹事業	—		削除/追加の理由		—			
			提案事業	—		—		—			
	新たに追加した事業		基幹事業	—		—		—			
			提案事業	—		—		—			
	交付期間の変更		当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—			
変更			—								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	公共施設等の利用者数の増加	人	171,635	H24	221,745	H30	238,027	○	既存の総合市民体育館(パルシー)に隣接して地域交流センターである総合文化会館(ハストピア)が完成し、芸術、文化、交流の拠点が創出され、利用者数の増加につながった。	—
	指標2	レクリエーション施設へのアクセス環境の満足度	%	15.4	H25	27.4	H30	35.7	○	交流拠点施設の整備に併せて、アクセス道などの周辺道路整備が行われたため、アクセス環境の改善が図られ満足度が増した。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング	評価値	目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	バス乗降客数	人	3	H26		64			交流拠点施設の整備に併せて、アクセス道などの周辺道路整備が行われ、バス乗降客数が増加した。	—
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・総合文化会館(ハストピア)の整備により、情報発信拠点としての機能が生まれた。「ふれあい・はぐみ・ひろがり 創造と躍動の拠点づくり」をコンセプトに、音楽・演劇・各種講演会などに利用される文化活動拠点の中核施設となっている。施設のメインとなる「どきどきホール」は、演奏会、演劇、ダンスなどの演目に対応でき、市民の文化、芸術等の発表の場として、利用されている。また、ホールのホワイエ兼交流ラウンジとしての機能を持つ「蓮の葉ロビー」は、少人数の集まり、屋外広場で行うイベントの待合せ等、多目的かつ多世代が集える場所となった。 ・地域交流センターの整備により、地域住民の交流の機会が創出された。可動間仕切りを移動させて、さまざまな展示パターンに対応可能な「ギャラリー」、会議、研修会、食事会場などの活動に利用できる「多目的ルーム」、茶道、囲碁・将棋などが行える「和室」、絵画・書道・工作などの創作活動ができる「創作ルーム」、クラシック音楽、合唱、ダンス等が「スタジオ」で行えるようになった。 ・総合市民体育館(パルシー)、総合文化会館(ハストピア)周辺へのアクセス道路の整備により、交通アクセスの向上が図れた。 ・特定のイベント開催時には、バス事業者の協力により、バスの通常運行以外に臨時シャトルバスが運行し、各施設利用者の利便性が向上している。 										
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築		—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

蓮田市閨戸貝塚周辺地区(埼玉県蓮田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 都市と自然と調和を目指したレクリエーションゾーンの形成 小目標① 芸術・文化の拠点を整備し、地域住民の交流空間を創出する。 小目標② 区域内アクセスの利便性を向上し、レクリエーション施設の利用増進を図る。	公共施設等の利用者数の増加	人	171,635人	H24	221,745人	H30	238,027人	H30
	レクリエーション施設へのアクセス環境の満足度	%	15.4%	H25	27.4%	H30	35.7%	H30
	バス乗降客数	人	3	H26	-	H30	64	H30



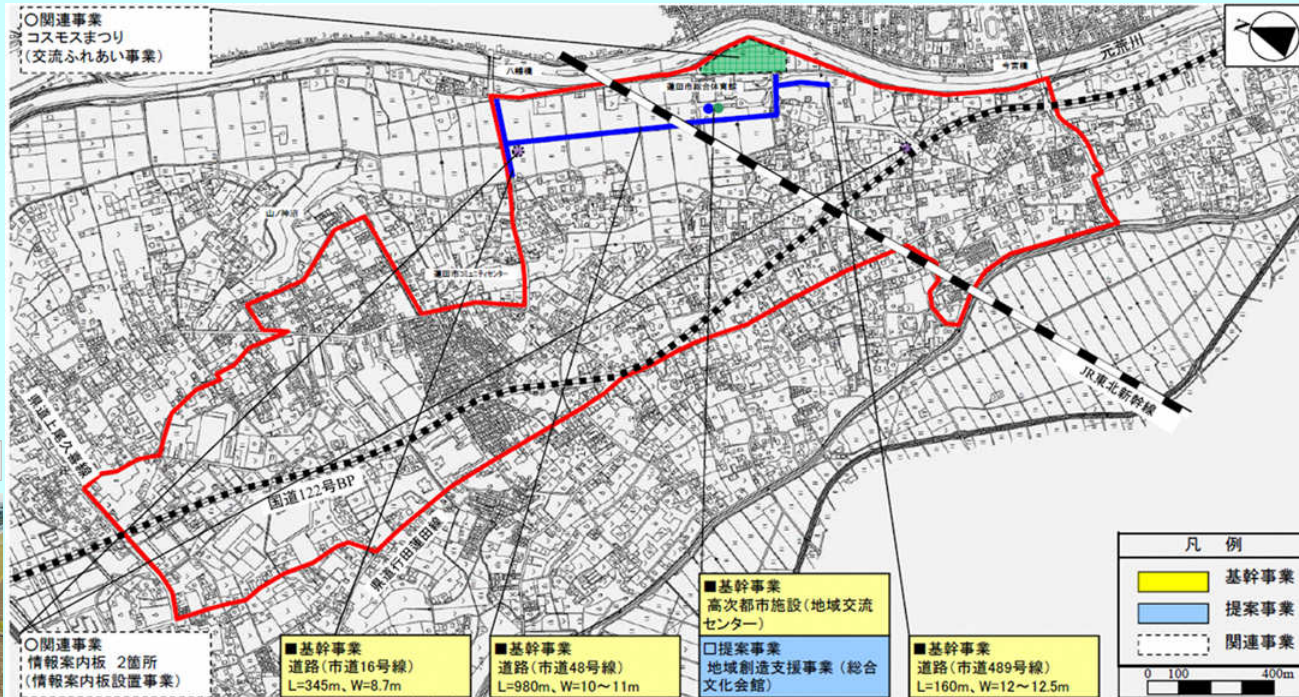
コスモスまつり



道路(市道489号線)



道路(市道48号線)



地域交流センター・総合文化会館(ハストピア)



多目的ルーム



どきどきホール



総合市民体育館・パルシー

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市内に芸術及び文化の拠点となる施設が無く、住民の交流活動のための施設も不十分であったが、地域交流センターである総合文化会館の完成により、市民の芸術・文化活動の向上と地域住民の交流を深めることができる場所ができた。 交流拠点施設の整備に併せて、アクセス道などの周辺道路整備が行われたため、レクリエーション施設へのアクセスの向上に繋がった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 総合市民体育館(パルシー)及び総合文化会館(ハストピア)周辺は、スポーツや文化・芸術活動の拠点として、にぎわいがあり利便性が高い拠点としての整備を推進していく。 魅力ある拠点施設として、さらなるアクセス性、快適性の向上を目指し、未整備も含めた周辺道路網の充実に努めるとともに、公共交通機関(バス)等によるアクセス方法の利便性の拡大、周辺の公共空地や広場等の整備が重要である。